

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成16年 8月30日)

事業コード	H16-建-継-18			区 分	国庫補助・ <u>県単独</u>
事業名	地方特定道路整備事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	道路改築(バイパス)			課 室 班 名	道路建設課 地方道班 (tel) 2485
路線名等	(主)湯沢雄物川大曲線			担当課長名	佐藤 紀一
箇所名	大曲市角間川			担当者名	主幹(兼)班長 小田 修
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	4	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	目標コード	2	施策目標名	県道の整備促進	

1. 事業の概要

事業期間	H8~H20(13年)	総事業費	15 億円	国庫補助率	-	
事業規模	延長L=1,820m 幅員(構成)W=12.0(2.5-1.5-6.5-1.5)					
事業の立案に至る背景	当該区間は、人家連担地域であるが道路幅員が5mの隘路となっており、生活道路の整備による地域住民の安全性を確保し、大曲仙北地域の道路ネットワークの強化による地域間交流と連携を促進するためバイパス整備を行うものである。					
事業目的	市街地の交通円滑化の推進(混雑度5.17) 道路の防災対策・危機管理の充実(第2次緊急輸送道路)					
事業費内訳 事業内容	(単位:千円)					
		全 体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降
事業費内訳	事業費	1,546,000	932,000	60,000	100,000	454,000
	工事費	564,000	352,000	0	0	212,000
	用補費	805,000	423,000	58,000	98,000	226,000
	その他	177,000	157,000	2,000	2,000	16,000
財源内訳	国庫補助					
	県 債	1,391,000	838,000	54,000	90,000	409,000
	その他					
一般財源	155,000	94,000	6,000	10,000	45,000	
事業内容	H14まで917m 部分供用済	測量設計 用地補償 改良工 舗装工	用地補償	用地補償	用地補償 改良工 舗装工	
事業推進上の課題	特になし					
上位計画での位置付け	総合計画における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業					
関連プロジェクト等	特になし					
事業を取り巻く情勢の変化	当該区間のH11道路交通センサスにおける日交通量は、H9センサス値の1.12倍の7,415台が観測されており、地域より早急な事業完成が要望されている。					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	路線改良率		データ等の出典	道路現況調書	
	指標の種類	成果指標 <u>(業績指標)</u>				
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)				
	目標値 a	91.0%		把握の時期		
	実績値 b	86.4%				
達成率 b/a	94.9%					
				平成16年 7月		

前回評価結果等	選定または継続	改善	保留または中止
	指摘事項		
	指摘事項への対応		

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	当該区間は「道路構造上の欠陥箇所数」も3箇所あり、幅員も5mと狭隘で混雑度も高くなっている。 現道は、旅行速度も低く、また、通学路指定区域であり早急な改良が必要である。	13点
緊 急 性	道路交通量調査の動向では増加傾向にあり、併せて狭隘で歩道もなく冬期交通にも支障や危険を伴っている。	3点
有 効 性	緊急輸送道路の指定路線であり、災害や救急医療施設のアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。	30点
効 率 性	事業の費用便益比は2.4であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 17.6億円 ・総便益の現在価値 42.3億円 計画日交通量も7,000台以上となっている。	15点
熟 度	計画延長1,820mのうちH14まで917mが部分供用済みであり、残りの区間についても用地買収を進めている。	13点
判 定	ランク (○) 救急医療施設へのアクセス道路でもあり、整備後の有効性は高いことから引き続き実施すべきである。	74点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

当該事業については、コスト縮減に留意し着実な推進を図る。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。

別表7 (21)

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所 (継続箇所)

事業コード (H16-建-継-18) 箇所名 (角間川)

適用事業名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員 < 5.5m ・最小半径 < 100m ・最急勾配 > 5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	(8)		8	5m クランク有
		2箇所	6			
		1箇所	4			
		0箇所以上	0			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・現道の事故率 50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7	(5)	5	5.17 29.6km/h
		4件該当	6			
		3件該当	(5)			
		2件該当	4			
1件該当		2				
該当項目なし		0				
計		15		13		
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	4	(0)	0	
		なし	(0)			
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	(0)	0	
		位置づけなし	(0)			
	交通量	増加している	(3)	0	3	
		増加していない	0			
	特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	(0)	0	
なし		(0)				
計		15		3		
有効性	道路の位置づけ					
	生活圏30分形成道路等	該当する	(7)	0	7	
		該当しない	0			
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	(7)	0	7	仙北組合総合病院
		該当しない	0			
	地域防災計画重要な道路	該当する	(7)	0	7	
		該当しない	0			
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	(9)	6	9	
低下傾向		6				
必要性が低い		3				
計		30		30		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比(B/C)	1.0以上	(5)	0	5	B/C=2.4
		0.5以上~1.0未満	3			
		0.5未満	0			
	計画交通量	1,000台/日以上	(5)	0	5	
		500台/日以上~1,000台日/未満	4			
		300台/日以上~500台日/未満	3			
		300台/日未満	0			
	コスト縮減	あり	5	(0)	0	
		なし	(0)			
事業中止による影響	既投資額の損失大	(5)	4	5	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
計		20		15		
塾度	事業の進捗進捗状況					5
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	0	5	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	(5)			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	10	0	8	
		5割以上完了	(8)			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		未着手	0			
計		20		13		
合計			100		74	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	74	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		